



「Catch Ball キャッチボール」

～地域に開かれた農場を目指して～

住 所：〒014-0054 大仙市大曲金谷町 26 - 9
 電話番号：0187-63-2257 FAX:0187-62-3434(大嶋農場:FAX 兼用 0187-68-2381)
 U R L：http://www.daino-h.akita-pref.ed.jp
 *農場だよりに関するお問い合わせは農場経営部までご連絡下さい。

農場長(高橋寿徳)より

「長期インターンシップで得た信頼 ～井の中の蛙大海を知らず～」

本校生徒が農業法人や先進農家にお世話になり毎年「長期インターンシップ」を実施していることは知っていると思います。今年は地域の4つの法人が受け入れてくださり、夏休みを利用して5名の生徒が長期研修を行いました。

それぞれの農業法人の方が、口をそろえて「がんばれだなあ。たいしたもんだ!」「なんといいわけもん(若者)だ。」と話しておられました。特に、卒業後の進路がかかっている3年生には相手側から、「来年来てもらえないか」「うちの法人で声かけをしてもいいか」など嬉しいことばをいただきました。今でも電話をいただくことがあります。

私が皆さんに何を伝えたいか。それは、3年間の高校生活の中で学校の中だけではなく、幅広い経験や体験をしてもらいたいということです。今回、長期インターンシップに参加した5名の生徒は、その「行動力」と「積極性」で大きな「信頼」を得てきました。『井の中の蛙大海を知らず』 多少の失敗はつきものです。「農業高校だからできること」それをうまく活用していこうではありませんか。

水田部門

(担当者：藤井亨、高橋寿徳、佐々木尚人、黒田一久)

収穫の秋となり、大嶋農場水田でも9月18日(木)より稲刈りが始まりました。「あきたこまち」を皮切りに順次進めていきます。稲刈りの進み具合と米の品質は天候に大きく左右されますので、好天に恵まれることを祈るばかりです。



大家畜部門

(担当者：佐々木惇、佐藤晴輝)

大農茂、だいのうみさきが、親元を離れて独り立ち。

成牛3頭も部屋替えをしました。



中家畜部門

(担当者：守屋拓、小林和成)

大曲の花火の翌朝に12頭の子豚が生まれました。みんな元気にすくすく育っています。実習の際は、温かい目で見守って下さい。



小家畜部門

(担当者：田口健一、佐藤晴輝)

強制換羽が終了し、また順調に卵を産み始めました。本校の農産部販売所は来月で終了しますが、その後も農業科学館や販売実習で鶏卵の販売をしますので、その際はよろしくお願ひします。

また、10月26日(日)の大農祭一般公開日にも販売をしますので、是非本校に足を運んでください。

食品加工 部門 (担当者：伊藤寿人、三嶋登忍)

大農味噌が順調に発酵しています！！

発酵食品の起源は、人間が文字を発明し記録を残したことから、かなり正確に知ることができます。しかし、実際には、それよりずっと古く、おそらく、人間が農耕や牧畜を始めた頃、いくつかの発酵食品が誕生したものと推察されています。

ところで、醸造という言葉の、醸の字の、酉(とり)は酒つぼの象形文字に由来して、「成熟する」という意味をもち、裏(じょう)は「ものが増えること」を意味しています。そこで、微生物の働きにより、つくり出されたものを「醸造物」(発酵食品)と表現したと考えられています。大農「味噌」は微生物の働きにより作り出される発酵食品です。美郷町産大豆「リュウホウ」には表皮にしわがでやすい品種特性があります。生徒が一粒一粒手作業で厳選しています。春の味噌の仕込み作業から7月の切り返しを経て10月の製品完成まで静かに熟成しています。大農味噌は大農祭で2.5kgを800円で校内販売される予定です。



(平成26年度5月味噌の仕込み)



(大農祭での味噌販売の様子)

果樹 部門 (担当者：佐々木孝之、佐藤農)

ブドウの収穫が始まりました。本校では大粒種がよく知られた「巨峰」がなく、巨峰の早生系「紫玉(しぎょく)」という品種を栽培しています。(今年はもう終了です)

これからはスチューベンですが、10月の大農祭に合わせて、収穫、貯蔵したいと考えています。青森県鶴田町がクリスマスに合わせて出荷する方法と似ています。糖度が高まり、甘くなるといわれていますので楽しみに。



野菜 部門 (担当者：古戸毅、小松万里子、富樫久雄)

ハクサイ苗の定植を行っています。学校では土壌病害、害虫、強風を避けるためビニールハウスで連結セル及びポリポットを利用して育苗しています。ご覧のように本葉が5~6枚になったら圃場に定植します。品種は根こぶ病に強く結球肥大性に優れた「秋の祭典」で、収穫は来月になります。葉は締まり、ほんのり甘く食べ応えがあります。鍋物、炒め物などにご利用下さい。



花卉 部門 (担当者：和泉有紗、山代和也)

シクラメンの葉組みを行っています。この作業を行うことで、球根の上の部分にある芽に光が当たり、中心部から綺麗にそろって花を咲かせてくれます。生徒たちは真剣そのものです。



生物工学 部門 (担当者：平塚祥広、大沼克彦、照井豊和、佐藤潤之介)

温室内の洋ランは、ここ数日の朝晩の低温にあたりシンビジウムを中心に花芽をつけ始めています。新しい温室への引っ越し準備も進み、今年の冬は新しい温室できれいな花をたくさん咲かせてくれることを期待しています。

マーケティング 部門 (担当者：佐々木優子、三浦薫)

大農新鮮うめもん市(農産物販売所)は、地域の方々や保護者の方々のお陰で販売開始から30分以内に全てが売り切れる状態でした。残すところあと2回、9月30日(火)と10月14日(火)に皆様をお待ちしております。マーケティングの生徒は授業の中で接客マナーについての講義を受けました。笑顔の大切さや挨拶の仕方など、これからの販売に生かしていきたいと思っております。よろしくお祈りします。